



# 支援プログラム

## 法人理念

作成日 令和7年2月1日

社会の事象に対して、傍観者にはなりません。必要としている方に必要な支援を必要なだけすぐにお届けします。

## 支援方針

すまいるおんは、一日の心身の疲れを癒す場、リフレッシュ或いはクールダウンの場です。やらされる活動(療育)ではなく、何気ない日々の生活の様子から子供たちが必要とする支援を見つけお手伝いをします。お友達との触れ合いをとおして笑顔溢れる時間を過ごします。

- 1 子どもの人格を尊重します
- 2 子ども一人ひとりの状況を理解します
- 3 子どもが社会の宝として深い愛情に包まれ成長することを支援します
- 4 安全安心に生き生きと成長することを願います

## 放課後等デイサービス事業所 すまいるおん

営業時間 9:30から18:30  
送迎の実施 有

### 私たちの約束

- ☆ 子ども達を笑顔にします。
- ☆ 子ども達が笑って暮らせるように応援します。
- ☆ 周りの方々を笑顔にします。

## 家族支援

保護者が安心して子育てができるよう、保護者の気持ちを受けとめ、保護者の自己決定を尊重しながら、兄弟姉妹を含めた家族の負担を軽減していくための支援を行います。

## 地域支援・地域連携

地域で適切な支援を受けられるよう、関係機関と連携していきます。子どもや家族を中心に据えた包括的支援を提供できる地域づくりのお手伝いをします。

## 移行支援

地域交流の機会を確保し、同年代の子どもとの仲間づくりを図ります。また、具体的な移行先がある場合には、移行に向けた支援や連携を行います。

## 職員の質の向上

専門的な知識技能向上を目的に、職員研修を年間計画に基づき実施しています。

資格取得の支援をしています

## 主な行事等

- 登山(伊吹山、養老山)
- 社会見学
- 調理実習
- お誕生会
- 食育活動



## ①健康・生活

生活リズムを整えるとともに、生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得を目指します。

## ②運動・感覚

感覚統合遊び等の活動の中で、自分の体を知り、使い方を身に付けていきます。姿勢の保持、運動・動作の基本的な技能の向上を目指します。一人ひとりの感覚の特性を踏まえて支援します。

## ③認知・行動

一人一人の認知の特性を理解し、自分にとってくる情報を適切に処理できるように支援します。空間・時間、数等の概念形成を習得していけるように様々な体験活動等を通して支援します。

## ④言語・コミュニケーション

「自分の思いを他者に伝えたい」を実現のため、言語の習得や自発的な発声を促す支援を行います。一人ひとりの発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができるように支援します。

## ⑤人間関係・社会性

人との関係を意識し、親密な関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成します。また、社会性を発達させます。気持ちや情動の調整を大人と一緒にいきます。



## 5領域のねらいと支援内容

### ①健康・生活

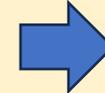
- ・健康状態の維持・改善
- ・生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的生活スキルの獲得



- ・基本的な生活習慣や食生活・健康について、遊び・学習を通して身に着けます。
- ・おやつ、昼食作りを通して、料理や食べることに興味を持ってもらいます。偏食の克服も。
- ・来所時、送迎時、活動時間中子供たちの様子に気を配ります。
- ・毎日の検温、体重測定(月に1回)

### ②運動・感覚

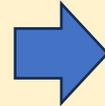
- ・姿勢と運動・動作の向上
- ・姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- ・保有する感覚の総合的な活用



- ・海底トンネルでの歩行訓練で、持久力、体幹の向上、筋力UP、体重の抑制を目指しています。
- ・創作・工作活動、ブロック、紙粘土、パズル等で視覚と指先の供給能力を高めます。

### ③認知・行動

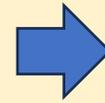
- ・認知の発達と行動の習得
- ・空間・時間、数等の概念形成の習得
- ・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得



- ・数量の概念や計算能力を習得するため、個別に課題プリント学習を行います。
- ・コミュニケーションの難しさなどが原因で起こる行動障害を予防し、適切な行動が取れるように支援します。
- ・個人の能力に合わせた教材を用意し、話すこと、読むこと、聞くこと、計算することなどの学習支援を行います。

### ④言語・コミュニケーション

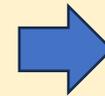
- ・言語の形成と活用
- ・言語の受容及び表出
- ・コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・コミュニケーション手段の選択と活用



- ・絵カード、ICT機器等コミュニケーション手段を用いて発語が難しい子どもたちが自分の気持ちを表現できるように支援します。
- ・みんなの前で紙芝居を読むことを通じて、自分の気持ちを伝えることができるように支援します。
- ・ひらがな、漢字の読み書きのや語彙力が身に付けられるように個別に課題プリント学習を行います。

### ⑤人間関係・社会性

- ・他者との関わり(人間関係)の形成
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間づくりと集団への参加



- ・いつでも自然に挨拶ができるように支援します。
- ・集団活動を通して、良い人間関係が作れるようにサポートしていきます。
- ・子供たちに寄り添い、互いに信頼し合いより良い関係を作っていきます。